

第4 2 1回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	3 番 伊 藤 勝 美	<p>1. 風間市長の3期12年にわたる市政運営について</p> <p>本年6月定例会で、風間市長は10月に行われる白石市長選挙に不出馬の表明をされました。市長就任以来、「共汗・共学・共生」を基本理念とした市民総参画のまちづくりを推進して、次の世代に誇りを引き継ぐことができる「ふるさと白石」の実現を目指して市政の運営を行ってきたことに対しまして敬意を表します。</p> <p>本年度は、「第5次白石市総合計画」である「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」の6年目であり、また、昨年10月末に、人口・経済・地域社会などの課題解決につなげるための指針として、白石版地方創生総合戦略である『白石市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「総合戦略」』を策定されました。</p> <p>今後、平成31年度まで、「出生率」の向上と「社会減」抑制のための各種施策を積極的に実施して、「消滅可能性都市」からの脱却を目標としております。</p> <p>現在の景気状況は、若干の上向きの気配があるものの、依然として長引く経済状況の不安や、東日本大震災からの地震、津波、原発事故等や自然災害に対する防災対策、介護費、医療費の増大に伴う社会保障費対策、少子高齢化対策、定住促進対策、地域活性化対策、TPPの影響による農業対策などさまざまな課題が山積しております。</p> <p>(1) 風間市政12年間を振り返っての検証をお聞かせください。</p> <p>(2) 12年間の中で、市長が一番努力して、市民に喜ばれて、一番印象に残っているのは一言でいったらどういふことがありますか、お聞かせください。</p> <p>(3) 第5次白石市総合計画や白石版地方創生総合戦略などの各種計画がありますが、次期市長へどのように継承されるのか、お聞かせください。</p> <p>(4) 多くの山積する課題について、一つ一つを解決していくためには、職員の一体感・連帯感が必要であると思いますが、引退するに当たって、今後、職員に期待することは何か、お聞かせください。</p>	市 長
		<p>2. 市道の維持管理について</p> <p>本市における市道の除草作業については、地域性もあり、場所によっては年に数回の除草作業が必要になるところもあるのではないのでしょうか。</p> <p>また、市道は、735路線あり、総延長距離が約532キロと大変長く、多くの予算と労力が必要になることから、全部の作業を行うことは到底できないことは理解しております。</p> <p>毎年、夏が近づく時期になると、国道・県道の除草作業が委託業者によって行われます。また、市道の幹</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	<p>線道路や生活道路も委託業者や地域の地元自治会によって行われているのが現状であります。</p> <p>(1) 人家の数が少なく交通量も少ないような場所は、対応がおろそかになっているように思われますが、除草作業が必要な箇所をどのようにして把握されているのか、お伺いします。</p> <p>(2) 地元自治会での取り組みが年々ふえてきていますが、現在、市内各地域の作業状況はどのようになっているのか、お伺いします。</p> <p>(3) 道路の除草作業も大切ですが、最近、道路の上に覆いかぶさるように樹木の枝が伸びてきて、高さのある車両にとって、交通障害になるところが見受けられます。このような市道の状況については、どのような対策をなされるのか、見解をお伺いします。</p>	
		<p>3. 救命救急について</p> <p>AED（いわゆる自動体外式除細動器）についてお伺いしたいと思います。事故・疾病等により心肺停止状態に陥った急を要する患者さんに対して使用するとところのAED、目の前にある救える命があるとするならば、何としてもこれを使用して救っていかねばなりません。突然死を予防するためにも、このAEDの日常的な活用が求められます。</p> <p>(1) 現在、本市内において、AEDの機器は、どのような場所にどれくらいあるのか、お聞かせください。</p> <p>(2) AEDの使用法・場所の周知は、市民の方々に対してどのように行っているのか伺います。</p> <p>(3) 今後の啓発活動のあり方についての見解をお伺いします。</p>	市長
		<p>4. 子供の犯罪防止について</p> <p>少年による犯罪事件が後を絶ちません。これらの事件をみると、親を含めた大人にも大きな責任があるように思います。改めて地域が子供に対して犯罪被害から守っていく社会を作っていくと考えるべきではないかと考えます。これらの事件で何度かスクールソーシャルワーカー（SSW）の役割が出てきました。</p> <p>(1) スクールソーシャルワーカー（SSW）は、学校や家庭、外部団体をつなぎながら、子供たちの問題を解決していく教育委員会に属した組織のようですが、組織の内容とどのような場合に要請されるのかお伺いします。</p> <p>(2) スクールカウンセラーが本市でも配置されておりますが、現在の利用活動とか状況をお聞かせください。</p>	教育長
2	11番 四竈英夫	<p>1. 市長の引退について</p> <p>6月議会で風間市長は、今限りで市長を引退することを表明されました。東日本大震災の復旧復興の道</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	11番 四 竈 英 夫	筋もついたことや、多選長期政権の弊害等を引退の理由に挙げておられますが、改めて引退についての心情をお伺いいたします。 (1) 3期12年の市政運営の総括的見解をお伺いいたします。 (2) 任期中、特に印象に残っていることがあれば何かお伺いいたします。 (3) 嬉しかったこと、感激したこと、喜ばしかったことは何でしょうか。 (4) 悲しかったこと、残念だったこと、悔いが残ると思われることがあればお伺いいたします。 (5) 任期中になし得なかったと思われることがあればお伺いいたします。 (6) 次期指導者に期待すること、望みたいことは何でしょうか。 2. 有害獣対策について サル・イノシシ等の被害は拡大を続け、農家はその対策に疲弊しております。これといった決め手はなく、防衛手段にも限界に達した感があり、耕作を放棄する農家もいるなど、深刻さを増しているのが現状です。 (1) けもの除けの花火は、1世帯1回6本が無償で配送されますが、6本では到底足りず個人的に買って、しのいでいる農家が大部分です。 そこで、無料配布の花火の本数をふやして、農家の負担軽減を図るお考えがないかお伺いいたします。 (2) イノシシ除けの電気柵設置には、助成金がありますが、設置は困難なのが現実です。 そこで、比較的手軽に設置できる「防獣ネット」を使用する農家がふえています。 しかし、資材代が10アール当たり概算で25,000円ほどかかります。この経費の一部を助成していただければ、農家にとっては大きな負担軽減と、耕作意欲の高揚につながります。ぜひご検討いただきたいと思っております。お考えをお伺いいたします。	市長
3	16番 松 野 久 郎	1. 学校統合の準備としたICT（情報通信技術）の導入について 小中学校統合準備委員会も立ち上がり、今後、さまざまな角度から検討し準備に入ると思っています。小さな学校の生徒はうまくなじめるか、肩身の狭い思いをしないか、統合時の中学校3年生に対しては、環境の変化も含めて格段の配慮が必要と思っております。 そこで、統合前に積極的に交流活動ができるよう、ICTを活用して、統合するそれぞれの学校において、離れた空間と空間を臨場感を持って、いつでもつながるシステムを導入することにより、統合前からの交流活動をできるだけ多くすることを目的に、導入をぜひ	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	16番 松野久郎	<p>検討していただきたく伺います。 ※このシステムは、ICTを活用し「つながる教室」と題して、離島の学校と本土の学校間での授業がすでに運用されています。</p> <p>2. 白石フリーWi-Fiエリアの拡大と光回線の通信サービスができない地域への対応について 現在SSID（無線LANのアクセスポイントを識別するための符号）SHIROISHI FREE Wi-Fiが昨年10月から、8カ所のアクセスポイントでサービスが開始されていることを踏まえ質問いたします。</p> <p>(1) 現在、観光客誘致に力を入れているところですが、市街商店街のさらなる活性化を図るために、商店街へアクセスポイントを拡大してはいかがか伺います。</p> <p>(2) 白石市内において、まだ通信キャリアによる光ケーブルが敷設されていない地域があります。 小原エリアにおいては、通信キャリアにお願いしても、費用対効果から敷設が困難との回答がありました。特に温泉街でもあることから、モバイル無線技術（LTE）を活用した無線LANを自治体で構築し、SHIROISHI FREE Wi-Fiと融合させることにより、観光客誘致と地域住民への利便性向上も図ることができると考えますがいかがか伺います。</p> <p>3. 災害箇所の復旧工事や修繕について 昨今、異常気象に伴い、台風や集中豪雨などによる土石流や地すべり、がけ崩れなどの土砂災害が発生しています。その都度、修繕工事を実施していただいておりますが、発生場所の多くが、同一箇所になっております。 そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 緊急性や使用頻度、危険度等、さまざまな理由があると思いますが、災害時の復旧工事等において、本市の基準となるものがあるのか伺います。</p> <p>(2) 同じ場所が何度も繰り返し災害が発生する箇所については、一時的な復旧工事ではなく、長期的に災害が発生しないように、工事を実施していくことが、安全性や経済的にも効果があると考えますが、今後の対応について伺います。</p>	市長
4	7番 管野恭子	<p>1. 季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成拡大について 宮城県は、このほど子ども医療費の助成対象について、2017年度から通院費の分をこれまでの3歳未満から就学前までに拡大する方向を発表した。 そして、各自治体が2017年度の当初予算編成に反映</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	7番 管野恭子	<p>できるよう、8月31日に県内の各自治体の担当者に対して説明会を行った。当然、本市の担当者もこの説明会に出席している。</p> <p>私は、平成28年6月の第420回市議会定例会において、「宮城県が子ども医療費の拡充を検討しているが、実施されれば、子ども医療費の本市負担分が減少するので、その分で季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成拡大を検討すべきでないか」の旨の一般質問をしたが、その際、市長はおおむね次のような答弁をしている。「現時点では、正式な年齢、制限、来年のいつから実施なのか、まだ明確ではない。季節性インフルエンザ予防ワクチン接種は、今後、県の子ども医療費の部分を見据えた上で対応していければと考えている。」、また「しっかりと本市の財政、優先順位を見据えた上で検討はしたいと思っている。」</p> <p>子ども医療費助成拡大は、県の当初予算の議決が前提ではあるが、ここまで明確になっているのであれば、本市の「子育て環境の向上」のために、季節性インフルエンザ予防ワクチン接種助成対象を、接種可能年齢から中学3年生まで拡大する方向を前向きに検討すべきでないか、見解を伺う。</p>	
		<p>2. 災害時食品備蓄のアレルギー対応について</p> <p>(1) 本市は、すでにアレルギー症状を引き起こすとされる品目に対応した食品の備蓄体制になっていると担当課から伺っているが、乳アレルギーの乳児への対応はできているのか。まだであれば、ぜひ早急に対応すべきでないか、見解を伺う。</p> <p>(2) タンパク源となるアレルギー対応食品の備蓄も検討すべきと考えるが見解を伺う。</p>	市長
		<p>3. 犯罪被害者支援条例の制定について</p> <p>2005年に「犯罪被害者等基本法」が施行された。それによると、国と自治体がそれぞれ被害者支援の施策に取り組む責務があると明記しており、国は、犯罪被害者等基本計画を策定し、これまでに犯罪被害者給付金の拡充や、刑事裁判への被害者参加制度の導入など、被害者の権利保護策を前進させてきた。</p> <p>しかし、自治体においては、条例を定めて主体的に被害者を支援する動きは広がっていないのが現状である。</p> <p>犯罪に巻き込まれた人や家族は、心身ともに大きく傷つき、なかなか日常生活すらままならなくなってしまうことも少なくない。平穏な暮らしが営めるようになるまで、さまざまな支援が必要になってくる。</p> <p>神奈川県茅ヶ崎市は昨年、「犯罪被害者等支援条例」を制定した。この条例は、犯罪被害者団体や有識者らで構成する「被害者が創る条例研究会」が独自にまとめた案を参考にしたものであり、具体的には、自宅が</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	7番 管野 恭子	<p>犯罪現場になり、引き続き居住することが困難な被害者らのために、転居費用や家賃を補助する制度等も盛り込まれている。</p> <p>そこで次の点を伺う。</p> <p>(1) 本市における犯罪被害者支援への取り組み状況を伺う。</p> <p>(2) 今後、条例の制定へ向けての検討を行ってはどうか、見解を伺う。</p>	
5	14番 佐藤 秀行	<p>1 「学校におけるICT環境の整備等」について</p> <p>6月の定例会の中で、「ICT活用指導力の向上を目指す研修の推進」についての質問がありました。このことに関連してお伺いします。</p> <p>(1) ICT活用指導力は、児童生徒の学習内容を深める上で、すべての教員に求められる能力とされています。宮城県総合教育センターで昨年度作成されたタブレット端末活用動画集「+（プラス）タブレ」（先生方の研修のための動画集）が、「平成28年度第32回学習デジタル教材コンクール」において、最高賞となる「文部科学大臣賞」を今年の6月に受賞しました。</p> <p>そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>① タブレット端末活用動画集「+（プラス）タブレ」とはどのようなものなのか、またこの開催されたコンクールの概要・目的等についてお伺いします。</p> <p>② 教育委員会として、タブレットを今年度は各小中学校に数台ずつ配備しました。これは、市内各小中学校の教員が、すぐにタブレットを活用できる状態にあるということで、授業を進めていく上でも良いことであると思います。</p> <p>そこで、各小中学校に何台ずつ配備したのかお伺いします。</p> <p>(2) 前回の定例会の中で、ICT機器整備について、各小中学校に配備され、電子黒板も全学校に配備され、タブレットを活用した授業ができる環境は整っている、と答弁されています。</p> <p>このことから次の2点についてお伺いします。</p> <p>① 児童生徒一人一人にということも大事ですが、まずは先生方の研修、指導力の向上、スキルアップを目指すためにも、教員一人一人に1台ずつを配備することが望ましいかと考えます。このことについての見解を伺います。</p> <p>② 各教室に、電子黒板、実物投影機などを設置するなどの、さらなる環境の整備も必要と思われますが、このことについての見解を伺います。</p> <p>(3) 専門研修員の先生等も活用しながら、教員の研修等を行っていきたいということで、夏休みに研修会も行ったと聞きました。教育委員会として「+（プ</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	14番 佐藤 秀行	<p>ラス) タブレ」をこれからも推進していきたいというのですが、今後の取り組み・推進について伺います。</p> <p>2. 市道白石駅歩道橋線について 平成26年6月の定例会で、「JR白石駅の構内整備について」の質問の中で、白石駅歩道橋に関するものがありました。このことに関連してお伺いします。 この歩道橋は、昭和49年3月に設置され、すでに40年以上が経過しています。だいぶ老朽化も進み、金網の破損、塗装の剥がれ、さび、雑草、そしてゴミ等も見受けられます。そして、かけ替えなのか、修繕がいいのか、どのような手段のほうがいいのか、これからも市民の意見を十分伺いながら検討に入りたいというふうに思っていると答弁されています。 白石市の玄関でもある白石駅の環境整備・美化のためにも、また、駅を利用する市民・観光客等のためにも早急の対応が必要かと思えます。今後どのように進めていかれるのかお伺いします。</p>	市長
6	9番 大野 栄光	<p>1. 台風災害について この8月、3つの大きな台風が通過した。山麓に降った雨は濁流となり、河川の被害を大きくした。上流からの鉄砲水は、台風7号以来の「ため水」がダム化して、一気に道路を決壊し、山間部の立木をなぎ倒し流木となり、民家や橋をも壊し、介護施設の近くまで流れた。 そこで、以下の点についてお伺いいたします。 (1) 市道三住線の橋に流木が堆積し、一部橋を壊し道路が寸断された。500メートル下流には、介護施設や民家があり、自力避難のできない人たちが入園されている。側の小さな橋は間口が狭く、流木が流れたら一気にダム化すると思われる。 施設は、平屋にて避難場所もなく、被害が予想されるが、対策などの所見を伺います。 (2) 今回被害にあった市道三住線大岩橋と三住地内の市道金成線は、生活道として、また農作業道として大変重要な路線である。 地域住民は、秋の収穫作業に不便をきたすこととなる。早期復旧が望まれるが、当局の試案があればお示しいただきたい。 (3) 自然災害の脅威の前には、なすすべはなく、増水した濁流は恐ろしさを感じる。過去には、建設資材等の砂利・砂は河川から調達されていて、水の流れも管理されていた。 現在は、河床も高くなり、樹木も生い茂り、はんらの危険度も高くなり、災害が発生されると思われるが、対策などの所見を伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	9番 大野 栄光	<p>2. 自主防災組織について 「自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防災の主旨のもと、災害時には、自治会長さんを先頭に地域の安全を確保してくれる。 今回の台風時には、多くの警報が出され、いち早く集会所等に仮避難所を開設してくれました。 異常気象時に、より多く組織の活動が求められるが、安心して活動していただくためにも、身の安全補償は、どのようになっているのか伺います。</p>	市長
7	13番 佐藤 聡一	<p>1. 本市での熊出没について 今年は全国的に熊の出没が多く、秋田県では複数の死傷者が出るなど大きな被害も出ている。本市においても例外ではなく、例年以上に多くの熊目撃情報が寄せられている。 そこで、本市における熊の出没状況とその対策について質問する。 (1) 今年度、本市における熊の目撃は何件あるのかを伺う。 (2) 本市における熊による農業被害の状況を伺う。 (3) 熊の出没により、一番心配される事態は人的被害であるが、熊が出没した地域において、どのような方法で告知を行っているのかを伺う。 (4) しろいし安心メールによって、熊の目撃情報のお知らせを行っているが、メールを利用していない市民に対してのお知らせのため、また音による追い払い効果も期待できる広報車を使い、目撃現場周辺にお知らせをしてはどうかを伺う。</p>	市長
		<p>2. 新しくなった市のホームページについて 白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環として、本市のホームページが3月末にリニューアルされた。リニューアル後の状況について質問する。 (1) リニューアル前と比較し、アクセス数の変化を伺う。 (2) 情報量が減った、以前あった資料が見つけれなくなったと市民からの意見をいただいた。 リニューアル前のホームページでは掲載されていたが、現在は掲載されなくなった情報等はあるのか、もしくは、情報のリンクにたどり着けていないだけなのか、実際の状況を伺う。 (3) リニューアル後のホームページは、写真等を効果的に使い、きれいなレイアウトで見やすくなっている。 しかし、その反面縦長になってしまい、有料広告である広告バナーが一番下にきてしまって、市民の目に入りにくいレイアウトとなっている。 今後、広告の掲載を続けていってもらうため、また、新たな掲載を募っていくために、広告バナーの</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	13番 佐藤 聡 一	<p>掲載位置は、検討が必要ではないのかを伺う。</p> <p>(4) 市民よりイベント等の告知で打ち上げる花火が、どこの催しなのかわからないので知りたいと意見をいただくことが多い。</p> <p>どこで何をやっているのか知ることができれば、その催しへ足を運ぶ人もふえ、活性化にもつながると考える。</p> <p>情報を集め、市のホームページで掲載できないかを伺う。</p>	
		<p>3. 交流人口の拡大について</p> <p>風間市長は、12年前の就任以来、まちづくり団体等で活躍した経験を活かし、数多くの交流人口拡大をねらった事業を手掛けてきた。</p> <p>甲冑を利用したまちづくりなど継続してきた結果として、今現在まで続く武将・戦国時代人気を利用した観光へ、スムーズにつなげることができたのではないかと考える。</p> <p>12年間の交流人口拡大事業の総括、及び今後へ継続・拡大への期待を伺う。</p>	市長
8	1番 佐藤 龍 彦	<p>1. 市民のコミュニティの場づくりについて</p> <p>市内に住む女性から聞きました。</p> <p>「白石の商店街に、誰もが気軽に立ち寄れる場所が見当たらない」「商店街にお茶でも飲めるスペースがあったら良いのに」との声や、高齢の女性からも、「病院帰りに少し休める場所が欲しい」「買い物をした後に友達と話しをする所があれば良いのに」などの声が寄せられました。</p> <p>特に高齢の方は、市民バスなどで病院に通院をする際も、バスの待ち時間を有意義に過ごしたいと考えておられるようです。</p> <p>市民の皆さんや元気な高齢者の方々は、白石の街の中に落ち着ける場所を求めています。</p> <p>しかしながら、商店街は空き店舗が増え、営業している店舗も少なくなっています。</p> <p>市民の皆さんに聞きますと、最近では、近所になじみの友達も減り、「お茶飲み」もめっきりなくなってきているという方がふえてきている現実もあります。</p> <p>そこで、白石の街や商店街に、市民の方や元気な高齢の方が気軽に立ち寄れる場所・集まれる場所を提供していく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>市民の皆さんも、自分の住んでいる地域だけでなく、さまざまな、そして幅広い友人関係をつくることできれば、生き生きと暮らしていける力になると思います。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 市長は、高齢者の方が不便なく気軽に街へ出かけられる環境にあると考えているか伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	1番 佐藤龍彦	<p>(2) 市民の皆さんが生き生き暮らすためには、地域コミュニティが重要であると考えているが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 市が、空き店舗などを活用したカフェやサロンなどを商店街に開設してはいかがか伺う。</p> <p>(4) 「ふれあい・いきいきサロン」の現在の課題は何か伺う。</p> <p>(5) 市長は、市民の皆さんのコミュニティづくりを、今後どのように進めていくことが必要と考えているのか伺う。</p>	